

拠出金名:国連合同エイズ計画拠出金

国際機関等名	国連合同エイズ計画 (英文名称・略称) Joint United Nation Programme on HIV/AIDS (UNAIDS)					
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)		国連専門機関	その他	
所轄官庁担当課名						
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	邦 貨 (千 円)	金 額 外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト	拠出率(%) (注)	ODA率(%)
平成17年度	356,405	3,331		1\$ = 107円	(2005年) 1.8	75.4
平成16年度	366,397	3,331		1\$ = 110円	(2004年) 2.1	75.4
平成15年度	406,368	3,331		1\$ = 122円	(2003年) 3.9	75.4
拠出上位5ヶ国				国際機関等の財政 (2004～2005年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 376,714,678ドル		
1位	イギリス	29,640	17.7	当該年度の支出 315,852,937ドル		
2位	オランダ	29,186	17.4	次年度への繰越 60,861,741ドル		
3位	アメリカ	27,150	16.2	会計検査機関名		
4位	スウェーデン	22,797	13.6	外部監査官(External Auditor)		
5位	ノルウェー	19,080	11.4	Comptroller and Auditor General of India		
上記の率及び順位は2005年のもの				(現在の構成員の出身国:インド)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
WHO、UNICEF、WB等の共同事業として1996年に設立されて以来、エイズ対策に関連する国連機関等の調整を通じ、世界のエイズ対策を推進する中心的な役割を担っており、2001年国連エイズ特別総会の開催や2002年に設立された世界エイズ・結核・マラリア基金に対する積極的な技術支援・連携を行う等、我が国を含む国際社会において高く評価されている。なお、UNAIDSの事業は全て任意拠出金によりまかなわれている。 我が国はUNAIDSに対して拠出金による財政支援を行うとともに、事業調整理事会のメンバーとして積極的にその活動を支援している。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 エイズ対策に関連する参加国際機関(コスポンサー)のエイズ対策を総合的に管理執行するため、関連国際機関の関連事業予算とUNAIDS事務局予算を統合した統合事業予算を2001年に導入、今後、コスポンサーの事業を含む総合的なエイズ対策を推進する中で事業の効率化も図る、としている。(実効性については今後評価。) また、設立5年が経過した時点で事業全体の評価が行われ、管理運営方法や組織の在り方も含め、2002年末に5年後の評価報告書が理事会に提出された。その報告をもとに、より効率的効果的なUNAIDSの組織運営を含めた事業見直しの検討が開始されており、各機関をより効率的に調整できるようなツールの開発など機能強化のための取り組みに着手している。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		207 人 0.5 %		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2003年～2005年)。